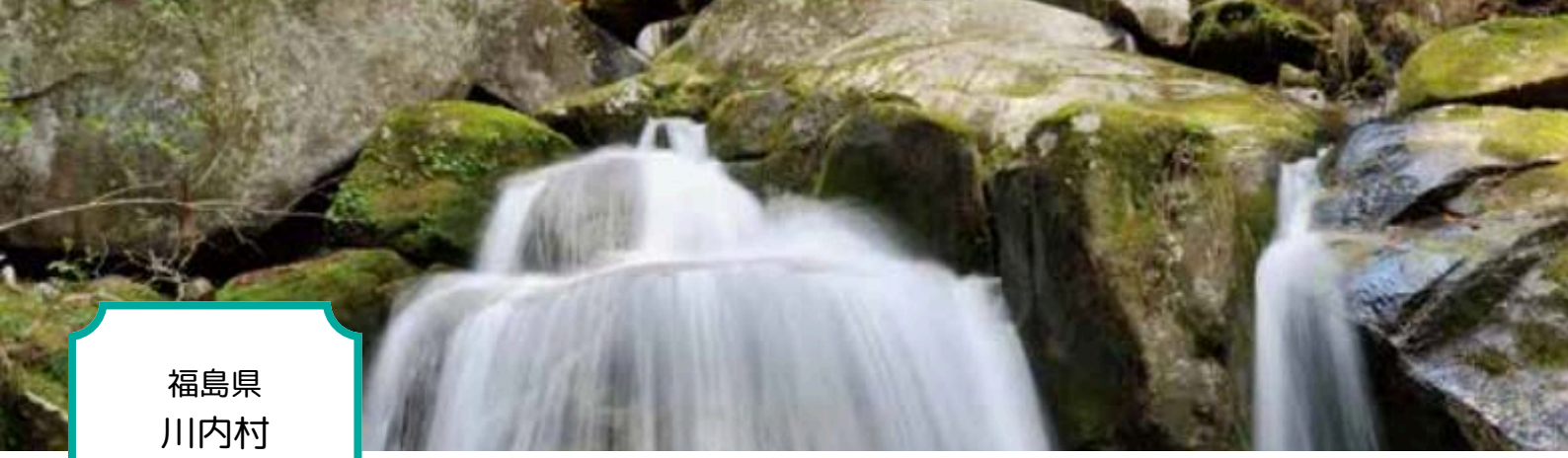


福島県
川内村

福島県浜通りの
標高400m～600mほど
の中山間地域にある
四季の変化に富んだ
伝統文化の息づく村

面積 197.35㎢　**世帯** 1,108世帯　**人口** 2,136人

川内村の沿革

1889(明治22)年4月に、町村制の実施により上川内村と下川内村が合併し、現在の「川内村」が誕生



包括連携協定

2023年11月6日締結

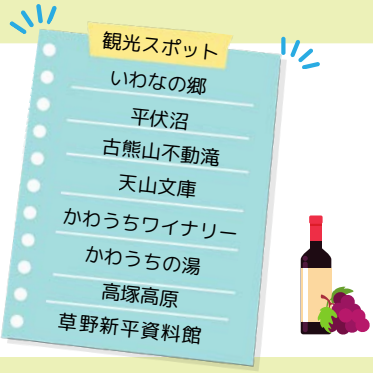
村内の教育機関

小中一貫校：1校 (67名)
※ 括弧内は児童生徒数

2026年10月1日時点

見どころ

川内村は、福島県双葉郡の中西部に位置し、北から南には雄大な阿武隈山地の山々が連なっており、四季ごとの美しい景観が楽しめます。詩人・草野心平ゆかりの「天山文庫」、郷土芸能「三匹獅子(さんびきしし)」、ふくしまの水30選「千翁川(せんのうがわ)」などの見どころがあります。「平伏沼(へぶすぬま)」は、海抜842ｍの平伏山の山頂にあり、モリアオガエルの繁殖地として、国の天然記念物の指定を受けています。また、村内にある「高塚高原」は、サラサドウダンやアセビなど、低木林でおおわれた高原で、新緑・紅葉美がすばらしく、観光を兼ねてハイキングをするのにもピッタリの場所です。



イベント・レジャー

春の例大祭は、伝統文化の田植えの前に豊作を願って昔から続く伝統のお祭りです。浦安の舞や獅子舞が奉納され、川内村の歴史と文化を垣間見ることができます。中でも獅子舞は400年前から続き、大切に継承されてきた伝統芸能です。また、毎年7月には、天山文庫前庭にて、詩人・草野心平を偲ぶ「天山祭」が開催され、詩の朗読や伝統芸能の披露などが行われます。村内を流れる千翁川は、いわなの宝庫として知られており、上流に民家がないため、とても清らかな水が流れており、釣りや森林浴にも最適な場所です。

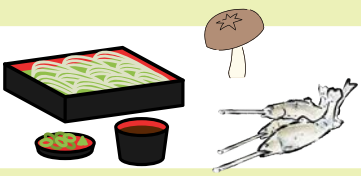




人気のアクテビティ：ハイキング・トレッキング、いわな釣り、キャンプ、蕎麦打ち体験

特産品

寒暖の差と美しい水を育む自然に恵まれた環境で育てられた農作物・川魚があります。
蕎麦、ワイン、しいたけ、いわな、えごま、たらの芽、味噌、凍み餅、クラフトジン



交通アクセス

東京駅(東北新幹線)⇒郡山駅(JR上越東線)⇒船引⇒バス(約3時間30分)
東京⇒川内(約4時間)

宿泊

コテージいわなの郷
ビジネス旅籠かわ久
小松屋旅館


コテージいわなの郷↑


ビジネス旅籠かわ久↑


小松屋旅館↑

川内村 X 学食コラボ

川内村
Village of Kawauchi

東日本大震災・原発事故からの復帰

福島県双葉郡の中西部にある川内村は、東日本大震災・原発事故により、2011(平成23)年3月16日に全村避難を強いられましたが、2012(平成24)年1月31日に、遠藤雄幸村長が「帰村宣言」を行い、2012(平成24)年を復興元年と位置づけ、学校や医療の再開を含め、全ての行政機能を川内村に戻しました。



2023年包括連携協定を締結



教育学部原田ゼミ合宿

教育学部の原田教授が、2013(平成25)年に川内村役場を訪問し、復興対策課の職員の方から説明を受ける機会があったことをきっかけに、2014(平成26)年から、原田ゼミのゼミ合宿が川内村で実施されるようになりました。コロナ禍でゼミ合宿が中止となった時期もありましたが、コロナ後の2022(令和4)年に再開され、川内村小中学園の児童や村民との様々な交流を続けてきました。

特別講演会

原田ゼミでは、2018(平成30)年から「震災を忘れない」をテーマにした特別講演会を毎年企画し、町田市の避難者の方々や東日本大震災被災者の方々、川内村の方々に講演をいただき、震災の経験や川内村について学ぶ機会を設けています。









学食コラボ

2019(令和1)年より、講演会だけではなく、もっと広く川内村の魅力を伝えたい、ひいては、福島県の風評被害払拭にもつなげたいとの学生たちの考えで、川内村X原田ゼミの学食コラボが始まりました。2021(令和3)年からは、川内村X原田ゼミX校友会の学食コラボに広がりを見せています。学食を食べた方々のアンケートでは、98%が美味しい・とても美味しいとの回答で、連日完売となるなど毎年好評のイベントになっています。また、メディアの取材も多数受けています。

コスモス祭 販売品 (2025年実績)



野菜(じゃがいも、かぼちゃ、たまねぎ、里芋、にんじん、とうがらし)、いわなアヒージョ、川内高原そば(乾麺)、凍みもち、エゴマドレッシング、いわなクッキー、ふくしま手帳2026

2025(令和7)年度 主な交流活動

2025年8月27日	教育学部原田ゼミ：3・4年生29名が川内村小中学園およびCafé Amazon Fukushimaにてイベントを企画・運営
2025年9月5日	川内村小中学園9年生11名が来園し、教育学部、工学部、芸術学部について学び、大学施設を見学
2025年9月9日～12日	教育学部の3年生5名・4年生2名が川内村役場主催「学生チャレンジ事業」に参加
2025年10月4日	教育学部の教員4名が川内村の子どもと保護者を対象に「おんがくであそぼう」を開催
2025年10月28日～11月6日	教育学部原田ゼミ：学食コラボを実施(10/28～31 食事週間・11/3～6 デザート週間)
2026年1月28日	教育学部原田ゼミ：遠藤村長・野菜勉強会の方々へ学食コラボについて報告

川内村役場ホームページ

川内村観光協会ホームページ

2026年8月1日